



令和7年度 日向市立坪谷小学校 学校関係者評価書

学校経営ビジョン

No. 1

令和8年3月16日現在

「地域・学校を愛し、地域・学校を誇る児童の育成」

～わくわくして登校、笑顔で下校する子どもを目指して～

重点目標	達成目標	4段階評価の平均 十分達成=4 概ね達成=3 あまり達成できていない=2 ほとんど達成できていない=1				評価指標(アンケートの到達目標)	担当	評価指標達成状況	達成度評価 (自己評価)		学校運営協議会委員による評価 期待以上A 期待どおりB 期待を下回るC 要改善D	
		児童 自己評価	保護者 自己評価	職員 自己評価	全体平均				平均3.2以上 A 平均2.4未満 C	評価	コメント	
確かな学力の向上	個別最適な学びの場の充実	4.0	3.5	3.6	3.7	○ 学び合いの場の設定や伝え合いの場の充実 ○ 学習指導案への位置付け	★請関 深江	○ 自分の意見と他者の意見を比較する機会を、すべての教科において設定することができた。 ○ 学習指導案の展開段階において、学び合いの機会を設定することができた。 ○ 肯定的な反応や建設的な反応を称賛することで、それらの行動が強化された。	A		A	○ 6年生2名だけという状況なかなか無いと思います。先生方の指導すべてが多数の時ほど分散されることなく二人に注ぎ込めるという点において恵まれた環境であったと思います。二人が先生方の指導された内容を十分に身に付けてさらに飛躍してほしいと思います。読書は中学生での課題ですね。 ○ 2学期の始めに閉校という決定がなされ、それからは閉校に向けた取組が始まったので、普段の様子等を直にみることはなかったけれどメディアや新聞、広報等での学校生活の情報からは成果を感じることができた。5年生までとは違う6年生の1年間をよく頑張ったと思う。 ○ 細かい部分見えていないのでコメント差し控させていただきます。 ○ 今年度は、学校参観等出席できなかったため、先生方の評価を見てのコメントになりますが、それぞれの項目において、高い評価をされていることから児童2名という厳しい環境の中、工夫して学力向上に努められたことは素晴らしいと思う。例年、読書に対する評価が低かったが、今年度は、保護者先生方の評価が高かったことから、少ない児童数を生かしてしっかりと活動できていると思う。
	指導の個別化と学習の個性化	3.5	3.6	3.3	3.5	○ 習熟度による学習内容・学習形態の工夫→2人で(意見交換、一人が先生等)・個別で ○ まとめにおける選択制のアウトプット→まとめを短い文章で絵やイラスト等で表現する機会	請関 深江	○ 学習内容のレディネスに応じて、1対1による個別学習や、生成AIを交えた意見交換、また様々な指導者(担任・ALT・栄養教諭・外部講師等)を交えた学習形態を実施することができた。学習のまとめや考察を文章に表したり、図に表したりすることができた。	A	A		
	読書環境整備、読書指導の充実	2.0	4.0	3.8	3.3	○ 「読む・感想をもつ・書く・伝える」の充実→朝の活動で5分読書(読んで感想を伝え合い) ○ 読書の日常化(図書司書との連携)→おすすめの本や教科に関連した本の紹介、教室への配置	深江 請関	○ 学校図書司書と連携し、環境の整備や図書受け入れや除籍等を依頼・実行することができた。また、図書ボランティアや学校図書司書による読み聞かせを実施することができ、読書の推進につながった。感想の伝え合いの時間を設定することができなかった。	A			
豊かな心の育成	地域の素材を生かした体験活動の充実	4.0	4.0	3.8	3.9	○ 稲作体験等の完全実施	★深江 請関	○ 寺原正さんと実施の状況を確認しながら年間を通して体験することができた。	A		A	○ この一年、一人一人の担う役割がさらに大きくなり事あるごとに先頭に立って行動する必要があったと思われます。感情豊かな人格形成の一年であったと思います。将来が楽しみです。 ○ 閉校という現実を踏まえているいろいろな体験をしている様子を見てみると様々な場面で自分の意見をしっかりと伝えられていると感じた。牧水顕彰活動を含んだ郷土愛の育成という点、挨拶、感謝の言葉等もたくさん聞くことができた。 ○ 坪谷小だから出来る体験等が多く素晴らしいと思います。 ○ 稲作体験、短歌朗詠など2名でしっかり活動できたことがとてもよい。身の周りの整頓など評価の低い部分をしっかりと頑張って中学校生活でも活躍してほしい。
	キャリア教育の充実とふるさと学習の推進	4.0	4.0	3.5	3.8	○ 閉校に伴う各種行事・活動における目的意識の高揚→児童の考えや願いを生かした計画の立案 ○ 各行事・活動の確実な振り返り	請関	○ 児童の考えや願いをそれぞれの行事ごとに聞き取り、反映できるように努めた。 ○ キャリアパスポートを活用することで、児童が自身のキャリア形成に対する見通しをもって各活動に取り組むことができた。	A			
	牧水顕彰活動を通じた、自尊感情、郷土愛の育成	4.0	4.0	4.8	4.3	○ 顕彰活動完全実施 ・ 短歌朗詠、牧水タイム(朝活動)、牧水かるた大会、牧水祭	深江	○ 計画通りに実施することができた。	A			
	思いやりをもって接することができる児童の育成「おはようございます。」「はいっ」「ありがとう」	4.0	3.5	3.4	3.6	○ 登下校時のあいさつ ○ 全校朝会における話	深江 校長	○ 登下校時のあいさつは進んで元気にできるようになったが、時折気分によってあいさつが暗いことがあった。 ○ 長期休業の生活や月ごとの生活目標について話し、意識づけを図ることができた。	A			
	身の回りの整理整頓ができる児童の育成	3.5	3.0	2.5	3.0	○ 整頓の日、記名の日完全実施	深江 請関	○ 帰りの会で整理・整頓の時間を設定し、毎日実施した。また、記名の日にも、チェックリストに照らし合わせ、記名させることができた。	B			
	時間を大切にすることができる児童の育成	3.5	3.0	2.3	2.9	○ 掲示物等による見通しの可視化(全校集会等)→時間カード、授業中の段階カード(6年教室等) ○ 時間に関する説話による意識化→校長の話で取り上げる。(全校朝会)	深江 校長	○ 授業中においては、見通しを持たせるために掲示物を利用し、授業の震度を把握することができた。	B			



令和7年度 日向市立坪谷小学校 学校関係者評価書 No.2

重点目標	達成目標	4段階評価の平均 十分達成=4 概ね達成=3 あまり達成できていない=2 ほとんど達成できていない=1				評価指標(アンケートの到達目標)	担当	評価指標達成状況	達成度評価 (自己評価)		学校運営協議会委員による評価 期待以上A 期待どおりB 期待を下回るC 要改善D	
		児童 自己評価	保護者 自己評価	職員 自己評価	全体平均				平均3.2以上 A 平均2.4未満 C	評価	コメント	
心身の健康の 保持増進の	「早寝・早起き・朝ご飯」、メディアコントロールを実践しようとする児童の育成	3.8	3.0	3.6	3.5	○ チェックシートの活用による家庭との連携した生活リズムの定着	★菊池	○ 生活チェックシートの様式を工夫し、児童が自ら進んで取り組めるようきっかけづくりに努めることができた。チェックシートや保健だよりを通して、家庭と情報交換をすることができたが、生活リズムの改善までは難しかった。	A		○ 精神的に押しつぶされてないかと心配もありましたがマスコミ等の発表は堂々としたものでした。私の周りでもニュースを見たよ素晴らしいという声を多く聞きました。心身共に成長したと思います。 ○ 生活リズムを維持していくことは困難な要因がたくさんあったのではと思うが、それなりに対処できたと思う。体力づくり等は地域の中での遊び等ができない環境の中では、難しい部分もあると思う。 ○ 生徒2名という有利な条件ではあったと思うが、素晴らしい生徒に育っていると思います。 ○ 前年度は、朝食を食べていない等反省点が目立っていたが、それぞれ評価が高いことから改善されているようだ。	
	体力向上プランをもとにした日常運動や体育の時間の工夫・充実	4.0	2.0	3.3	3.1	○ 体力向上プランの実践事項完全実施	深江 請閑	○ スポーツテストの結果を元に、特に落ち込みが見られる持久力・柔軟性の部分で授業の初めに体づくり(持久走・ストレッチ等)を行った。	B	A		
	栄養教諭との連携等による食育の充実	4.0	3.5	4.0	3.8	○ 栄養教諭訪問の完全実施 ○ 家庭料理の日における関連的指導	菊池	○ 栄養教諭による食育授業を年1回実施することができた。 ○ 家庭料理の日を夏休みに1回、弁当の日を冬の遠足で1回実施することができた。	A			
地域等との連携推進	学校と地域との連携の充実		3.8	3.9	3.8	○ 運動会などの行事における地域の方々への参加呼びかけ ○ 閉校記念事業実行委員会をとおした地域とともに学校をつくる組織体制の構築	★教頭 校長	○ 参加呼びかけだけでなく、地域からの提案などを反映させることができた。 ○ また、閉校式に向けた会場設営や来場者数を意識した運営を進めることができた。	A		○ 途中で休校から閉校へと舵を切り、全てが本当に最後まで銘打って実施となり、運動会も例年になく参加者も多く常にこれくらいはほしいなと思いつつも充実していたと思います。 ○ 運動会、閉校式等、周知の時間が短かったが、参加者数は予想を上回ったこともあり、地域の中には小学校の存在が大きかったことの表れであると思う。 ○ 閉校式等で、生徒・保護者と接する機会が多く、地域との連携も素晴らしかったと思います。 ○ 運動会等、例年以上に参加人数がいて区域ぐるみの活動になってよかったが、後半は閉校式中心となってしまった。	
	学校の様子を積極的な情報発信		4.0	4.0	4.0	○ 週2回以上のホームページの更新 ○ 月1回の学校だより ○ インスタグラムの開設とその運営	校長 菊池 教頭	○ インスタグラムにおいて、児童の様子や閉校式に関する情報を積極的に発信し、卒業生や地域とつながることができた。	A	A		
小中一貫教育の充実	小中一貫した教育の推進と積極的な小中連携	3.5	3.8	4.0	3.8	○ 小中連携に関する研修への完全参加 ○ 東郷学園との合同学習の実施(対面、ICT遠隔授業、集団宿泊学習、水泳指導)	★請閑	○ 一年間を通して計画的に合同学習を実施することができた。(計12回) ○ 小中連携に関する研修を実施することが出来た。(夏季休業中) ○ 各校の担任が随時連携を取り合うことで(Teams、オンライン打合せ)、共通理解のもと児童に指導を行うことが出来た。	A	A	○ いよいよ東郷学園の生徒の一員、大いに友達との関係を築き上げてほしいです。 ○ 東郷学園との合同学習やICT遠隔授業等の実施で、小中一貫教育の充実は図られたと思う。 ○ よく分からないため、コメントありません。 ○ 来年度から始まる新しい環境での生活の準備が十分にできていると感じた。	
職員のウェルビーイングの保障	職場の環境整備と働き方改革の推進		3.5	4.0	3.8	○ 年次有給休暇を取得しやすい環境づくり ○ 振替等の取得状況の向上 ○ 教育課程の工夫・改善	★校長 教頭	○ 年次休暇・振替については、個々の希望を記録し、取得しやすい体制づくりに努めた。 ○ 全校朝会において学校経営を児童及び職員に周知する工夫を行った。	A		○ 人数も限られ、閉校式の準備もある中、子どもたちの指導そして学校の運営と多岐な業務に邁進されたことと思います。次の赴任先でもご活躍をお祈りします。 ○ 少ない職員で学校を運営していくことは大変であり、ウェルビーイングを保障することは多忙感という言葉で表されていると思う。 ○ 校長、教頭、職員の役割、責任等すばらしいと感じています。 ○ コメントありません。	
	教職員としての役割や責任の自覚、コンプライアンス意識の向上			4.0	4.0	○ コンプライアンスチェックシートの活用 ○ 服務違反0	教頭 校長	○ コンプライアンスチェックシートの活用により、定期的に自己を振り返らせる機会となった。	A	A		
	職員間の風通しのよい人間関係の醸成			3.5	3.5	○ 報告・連絡・相談の推進 ○ 職員相互に助け合い、認め合う職場づくりの意識向上	校長 教頭	○ 報告・連絡・相談については、全職員の意識が高まりつつある。 ○ 少人数により互いを認め合う雰囲気については、坪谷小のよさではあるが多忙感があった。	A			

評価委員意見総括

○ 休校から閉校への方向転換となり準備が大変だったが、保護者・地域の皆様、閉校記念事業実行委員の皆様、地元業者様・市教育委員会等の御理解と御協力を得て、閉校式典及びお別れの会、牧水ヶ丘祭りを無事に終わらせることができた。すべての皆様に感謝を申し上げます。学校の教育活動においては、児童の人数や個性に配慮した授業改善や、各種行事の計画・立案及び準備・実施に職員全員で取り組んだ。各行事後の児童の発表の様子からも、年間を通した牧水顕彰活動や日頃の地道な取組によって、自尊感情や郷土愛の育成を図ることができたと考えている。今後は、坪谷小学校での経験や学んだことを生かして、児童には中学校でも自信をもって頑張ってもらい、地域の皆様には学校行事等で培われたネットワークを生かしてほしいと考える。